

米国フロリダ州 オレンジ生産量予測は5カ月連続で下方修正なし

FreshFruitPortal 2025年7月11日

米国農務省の7月の柑橘類出荷予測では、フロリダ州のオレンジ出荷量は6月の予測に比べて1%増加した。同省が同州の柑橘類の出荷予測を下方修正しないのは5カ月連続となる。6月のオレンジ出荷予測は、バレンシア種の5%の増加に牽引されて前月比3%増であった。5月には、オレンジの合計出荷予測が1%弱増加した。4月のオレンジ出荷予測は横ばいであった。フロリダ州柑橘類協会の執行副会長兼CEOであるマット・ジョイナー氏は、このニュースは励みになるとして、「フロリダ州の柑橘類業界の前途は明るく、新たな成長の機会がある」と述べた。

同氏はさらに、「カンキツグリーニング病の有望な対処法、耐病性を備えた柑橘類品種、研究と改植を対象とする州政府の支援金、さらに農務省の補完的災害救済事業など連邦の災害支援制度は、柑橘類生産者達が回復と復旧に必要な資金や手段を整える上で力となるだろう。1,215万箱という農務省の7月の予測は、3カ月連続で予測生産量が増加したことを示しており、これは我々がより回復力のある未来に向かって進んでいることを示す心強い指標である。生産者達は、カンキツグリーニング病とハリケーンの被害に対して信じられないほどの忍耐力を示しており、彼らが来シーズン、果樹の病害対策と果実生産の改善の継続により、この勢いをさらに高めることができると我々は期待している。」と述べた。

(関連記事)米国 柑橘類出荷予測 7月

米国農務省農業統計局 2025年7月11日
フロリダ州農業消費者サービス局との共同発表

柑橘類の品目別出荷量及び予測出荷量 - 州別及び米国計

品目及び州	出荷量 ¹		2024-2025 予測出荷量 ¹	
	2022-2023 (1,000 箱)	2023-2024 (1,000 箱)	6 月予測 (1,000 箱)	7 月予測 (1,000 箱)
バレンシア種以外のオレンジ ²				
フロリダ州	6,150	6,760	4,600	4,600
カリフォルニア州	36,000	38,300	40,000	41,000
テキサス州	570	690	530	530
米国計	42,720	45,750	45,130	46,130
バレンシア種のオレンジ				
フロリダ州	9,670	11,300	7,400	7,550
カリフォルニア州	8,600	7,100	7,500	8,000
テキサス州	560	490	350	320
米国計	18,830	18,890	15,250	15,870
オレンジ合計				
フロリダ州	15,820	18,060	12,000	12,150
カリフォルニア州	44,600	45,400	47,500	49,000
テキサス州	1,130	1,180	880	850
米国計	61,550	64,640	60,380	62,000
グレープフルーツ				
フロリダ州合計	1,810	1,790	1,300	1,300
赤肉系	1,560	1,550	1,160	1,160
白肉系	250	240	140	140
カリフォルニア州	4,500	3,900	4,300	4,300
テキサス州	2,250	2,400	2,300	2,000
米国計	8,560	8,090	7,900	7,600
タンジェリン及びマンダリン ³				
フロリダ州	480	450	400	400
カリフォルニア州 ³	23,500	27,200	26,000	28,000
米国計	23,980	27,650	26,400	28,400
レモン				
フロリダ州	(NA)	(NA)	600	670
アリゾナ州	1,400	950	950	1,120
カリフォルニア州	25,800	24,500	27,000	27,000
米国計	27,200	25,450	28,550	28,790

¹ 1箱当たりの正味重量(ポンド) オレンジ: カリフォルニア 80、フロリダ 90、テキサス 85。グレープフルーツ: カリフォルニア及びテキサス 80、フロリダ 85。レモン: アリゾナ及びカリフォルニア 80、フロリダ 90。タンジェリン及びマンダリン: カリフォルニア 80、フロリダ 95。
² フロリダ州では早生の非バレンシア種(ネーブル種を含む)及び中生の非バレンシア種。カリフォルニア州ではネーブル種及びその他の品種。テキサス州では早生品種及び中生品種。
³ タンジェロ及びタンゴールを含む。
(NA)はデータなし。